



「よろしくお願ひいたします」

るうてるホーム後援会 新会長 靱山 昭恵
(日本福音ルーテル京都教会)

「・・・すべてのわざには時がある。・・・
神のなされることは皆その時にかなって美しい」(口語訳聖書 伝道の書 3 章 1 節、11 節)

酷暑の夏が過ぎ、秋が足早に通り返り、あっという間にアドベントの時期が近づいてまいりました。あわただしい日々の中でも、神の言葉に耳を傾ける時間を大切にしたいと願っています。

この度、「るうてるホーム後援会長」という大役をお引き受けすることになりました。これまでの代々の方々のお働きを思うと、果たして自分に務めることができるのか不安もありますが、“すべてに時がある” ” 主にお委ねして” の心境で、私なりに務めさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

あらためて、るうてるホームの歩みを振り返ってみました。

40 周年記念誌 『支えられつつ 支えて』には、多くの職員の方々から寄稿されています。それらを読みますと、本当に多くの皆様のお働きとお祈りに支えられてきたのだということが、よく伝わってきます。

1965 年(昭和 40 年) 軽費老人ホームと

してのスタートから 58 年。神さまと人に、そして社会に仕えるホームとしての役割は、益々重要になっていくと感じています。

2013 年(平成 25 年)、現在の地に移転し、施設は大変きれいになり設備も整いました。当初からの理念「お客様一人おひとりを大切に、仕える姿勢を堅持します。どのような心身の状況にあってもご自分の生活をじぶんらしく続けることができるよう、お仕えに努めます。」この気持ちを忘れることなく、これからも、利用者も職員も笑顔あふれる施設であってほしいと願います。

ここ 3 年ほどは、新型コロナウイルスの影響で、地域や外部の方と交流する機会は少なかったと思います。少しずつ制限が緩和され、行事も復活しつつあります。またたくさんの笑顔に会いたいですね。

後援会の皆様のお支えに心から感謝し、今後も覚えていただきますよう、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

主のご降誕を待ち望みつつ。主と共に。

上智大学グリーンケア研究所は、日本で初めてグリーンケアを専門とした教育研究機関として、現在は東京と大阪で「グリーンケア人材養成講座」を開講しています。るうてるホームでは、2020年度から実習生の受け入れをしており、今回実習生のお一人の方に寄稿していただきました。

「るうてるホームから学ばせていただいたこと」

上智大学グリーンケア研究所人材養成講座
実習生 岡田真紀

私は現在訪問看護師として自宅で病気を抱えて生活されている方のケアを行っているのですが、施設で過ごされている方についてのグリーンを知りたいと思い、るうてるホームの実習を希望しました。

施設での生活に関連するお話を想像していたのですが、それ以外に幼少期の満州での出来事、お母さんとの思い出など様々なことを初対面にも関わらずお話していただきました。その中で様々な悲嘆を抱えておられることを知りました。古い記憶のものでもとても鮮明に覚えておられ、悲しみは癒えることなく持ち続けていると言うことを再認識させていただきました。しかし長い人生の中で折り合いをつけながら生きてこられ、その人の強さを感じることもできました。

私は「信仰がある」ということは、生きていく軸があり迷いなく生きておられると思っていたのですが、信仰も持ちながらも時に立ち止まったり、悩んだりされていることも知りました。しかし信仰に守られて生活されることで、穏やかに過ごされているようにも感じました。

実習当初から感じていたのですが、生活されている方もスタッフの方々も、いつも私を温かく迎え入れてくださっていることを感じて実習させていただきました。

この実習で学んだことは、ここではとても全てを書ききれませんが、これからの私のスピリチュアルケアに様々な影響を与えてくれると感じています。そしてそれだけではなく、看護師として人間として大きく成長させていただきました。るうてるホームでの学びを活かしてスピリチュアルケアの実践をしていきたいと思っています。



「ルーテル社会福祉協会総会・るうてる法人会連合総会へ参加して」

地域支援事業部主任 岡村佐知子

2023年8月21日～23日の2泊3日で熊本県にて開催される総会・研修会へ参加いたしました。

8/21・22は、社会福祉法人慈愛園で「ルーテル社会福祉協会総会・研修会」、8/22・23は、九州学院で「るうてる法人会連合総会・研修会」がそれぞれ開催されました。

日本では熊本県からキリスト教の宣教とし

て、伝道（宗教法人）、教育（学校法人）、奉仕（社会福祉法人）として、全国に展開していかれたとお話がありました。その熊本県での研修・総会に参加できた事をととても嬉しく思います。

るうてる法人会連合研修会の講義の中で、るうてるグループは225事業あるとお話があり、とても大きな組織である事を初めて

知りました。その中でも100年以上にわたって歴史のある施設も多く、繋がりのある中で仕事をしているという事を誇りに思いました。研修で分団協議（グループワーク）があり、1グループ（約10名）で宗教法人・学校法人・社会福祉協会・幼稚園保育園連合会の方々と「キリスト教主義を職員へどのように周知しているか」の報告がありました。近年、キリスト教信仰の職員が少なくなり、働き方も変

化してきているとのお話がありました。

牧師の方とお話する機会も多く、改めてるうてるホームの理念「お客様一人おひとりをお大切に仕える姿勢を堅持します。どのような心身の状態にあってもご自分の生活を自分らしく続けることができるよう、お支えに努めます。」について再認識することができたよい機会となりました。

「通所型サービスC」がニュースで取り上げられました！

通所事業部長 高田 真希

るうてるホームでは、地域のニーズに応えるため、昨年5月より「通所型サービスC」（短期集中予防サービス）を開始しました。加齢に伴い筋力や心身の活力が低下している方々を対象としたサービスで、「元の自分らしい生活」を取り戻すことを目的としています。

毎週土曜の午後2時間、運動プログラムを中心に、栄養や口腔機能についても学びます。もちろん週1回通所しただけでは十分ではありませんので、自宅で毎日それぞれの課題に合わせた「宿題」に取り組んでいただいています。毎回5〜8名の方が利用され、運動だけではなく、お互いに励まし合ったり情報交換をしたりする場にもなっています。最長6ヶ月の利用が可能ですが、そのほとんどが3ヶ月で目標達成し、利用当初よりも元気になり「卒業」されていきます。

卒業された方からは、「正座ができるようになった」「またグランドゴルフに行けるようになった」「（大阪市内の）商店街まで行けるようになった」など、嬉しいお言葉をいただいています。るうてるホームで実施している「はっぴいカフェ」につながった方も複数おられます。

最近では卒業された方が、ボランティアのサポーターとして通所型サービスCへ通ってきてくださっており、新たな人材発掘の場としても可能性を感じています。

この活動が11月4日の読売テレビ「ウェークアップ」の中で、この「通所型サービスC」とるうてるホームが受託している四條畷第1地域包括支援センターの取り組みが取り上げられました。下記QRコードから視聴可能です。ぜひご覧ください！

今後は、卒業された方がどのように生活されているかフォローアップを行うとともに、事業に携わるリハビリ専門職の開拓を行っていきます。また、事業を通じて地域でるうてるホームの認知度がさらに高まるよう努めていきたいと思えます。

番組の情報は、
こちらからどうぞ



公益財団法人 JKA からの補助を受けて新しい入浴設備を導入しました！

今年の事業計画で古くなったストレッチャー式機械浴槽の更新を検討し、8月にミスト式介助浴設備を導入しました。この浴槽の特徴は従来の湯舟に浸かるタイプのものではなく、細やかなミストで全身をあたたため洗うことのできるもので、温浴効果が高められ、心肺機能に不安がある方でも安心して入浴ができる設備です。導入当初から入居者様から好評で、これから寒い季節を迎えると億劫になりがちな入浴タイムが、楽しみに変わることが期待されています。



